

## 平成 30 年度 西日本OBサッカー連盟役員会議事録

日時；2019 年（平成 31 年）4 月 7 日（日曜） 13 時 30 分～15 時 45 分

会場；京都タワーホテル 8 階 福寿の間

定員数：14 名（定足数 8 名）

会 長 松崎 隆美

副会長（中部）三浦 陽一（九州・代理）白井 明子

理 事（関西）武田 卓（九州）白井 輝夫（ロイヤル福井担当）小林 正一  
（広報）佐賀 昭雄

監 事 島田 裕正

役員出席者 8 名

委任状提出者 6 名 細谷一郎 関谷許介 北条茂 貫田一見 松本悌孝 羽田恒太

事務局 奥村淳子

オブザーバーとして前理事 新宅 忍が出席

定刻に至り連盟規約第 16 条・第 17 条に定める定足数及び決議要件を充たしていることを確認し、議長に松崎会長、議事進行・議事録作成者に佐賀広報担当を指名することを全員一致で了承した。

「松崎会長挨拶」

◆連盟本部主催行事にあたってのご協力と日頃の地域活動に対して感謝の意を述べられた。

### 報告事項

1. 2018 年度（平成 30 年度）行事实施報告の件

◆連盟本部主催行事結果が「資料—1」に基づき報告され承認された。

2. 2018 年度（平成 30 年度）収支決算報告の件

◆収支報告が「資料—2」に基づき報告され承認された。

3. 2018 年度（平成 30 年度）監査報告の件

◆島田監事より資料—2に基づき経理処理・資産管理が共に適切との報告があり承認された。

### 検討事項

1. 役員選任の件

◆役員の新任及び再任の報告が「資料—3」に基づき報告され承認された。

尚、未決となっている九州地域副会長について早急に候補者の推薦を行う。

2. 2019 年度（令和元年度）実施行事の件

◆連盟本部主催行事が「資料—4に」基づき報告され承認された。

(関西) 武田理事より全域和歌山大会についての要望説明がなされた。

\* 想定以上の参加数対応と遠隔チームを初日 12 時以降開始、2 日目を 15 時終了前提に配慮をすると、会場を増やす必要が生じ離れた別会場となるため、運営が難しくなるので同一会場で開催したい。その為に試合時間短縮 (18 分ハーフ) して対応したい旨の要望がなされた。

審議の結果試合時間短縮について承認された。

\* 懇親会場は出席予定者 107 名受け入れ可能との報告がされた。

(福井大会) 小林理事・新宅理事より第 20 回ロイヤル福井大会はピッチを 8 OM にして、3 日間から 2 日間 (土・日) の日程で行いたいとの提案がなされた。

審議の結果 R クラスは良いとしても A クラス・V クラスはフルコートで行うことで合意された。大会日数の判断は参加チーム数によって主管チームが決定することで了承された。

(連盟本部)

\* 080・075 全域大会堺 J-G は 資料—4 記載日時で決定した。

### 3. 2019 年度 (令和元年度) 収支予算案の件

◆ 予算案の前提となる下記 4 項目に関し各地域の意見集約が行われた。

#### (1) B クラス登録廃止の件

\* 各県地域リーグの定着により、OB 連盟の役割は終えたとして廃止が了承された。

尚、2018 年度に登録された B クラス会員が今後再入会する場合は、入会金免除とする旨了承された。

\* 連盟本部行事に A クラス大会がなくなったことにより、納付金の取り扱いについての議論があり、審議の結果今年度から本部への納金は不要とし、各地域は「予備費」として計上することが了承された。

#### (2) 連盟だより・会員名簿廃止の件

\* 連盟だよりは連盟 HP に移行することで了承された。

\* 会員名簿は連盟 HP に (氏名・年齢) 移行し、住所・生年月日・電話 NO は連盟本部で別管理することを条件に了承された。

#### (3) 銀パンツ贈呈負担の件

\* 連盟本部からの贈呈は廃止が承認された。発注手続等は従来どおり本部が行い、その費用を各地域に請求する、費用負担方法は各地域に一任することで了承された。

#### (4) 勘定科目統一の件

\* 連盟本部・各地域の勘定科目明細が「資料—6」に基づき説明され、審議の結果「パンツ贈呈費」を追加することで承認された。

◆ 上記項目の承認を受け「資料—5」に基づき 2019 年度予算案が報告され承認された。

(補足) 単年度では繰越金約 16 万円あるが、A クラスの納付金が含まれており今年度は各域で「予備費」で計上して、連盟本部の収支状況に応じて対応することが了承された。

#### 4. 西日本 OB サッカー連盟の今後のついて

松崎会長より

\* 任意団体から社会的に認知された団体 (NPO 化) を目指すが、それには経理面・組織・運営体制等将来に向け体制改善を進めることが重要との意向を述べられた。

##### ①NPO 化の推進について

\* 松崎会長意向通り体制整備を地道に進めていく。

##### ②連結決算の報告

\* 昨年から連結決算化を目指して勘定科目統一を行い、各地域から過去 5 年分の収支報告を頂いたことについてお礼がなされた。

\* 2018 年度の連結決算 (試行) が「資料—7」に基づき単年度決算 (繰越金あり) 状況が報告された。

尚、中四国地域からの収支報告が一部漏れており今回は参考資料扱いとし、中四国から報告があり次第、再報告することで了解された。

中四国地域は数年役員会への出席も途絶えているので、組織維持のためにも連盟本部役員が中四国地域を訪問して実情把握を行う。

##### ③070 (R)・075 (SR) 080 (PR) 大会が多くなる中で今後の課題が報告された。

(1) 同時開催の時、単独チームでの編成が困難。

(2) 各地域に〇〇元老チームがあるが、所属するチームに当該カテゴリーがない人が参加の機会を失っていると思われる。

今後益々連盟の役割・期待が高まる 070 以上については、各地域の実態に即した柔軟なチーム編成が各地域での対応が、生涯現役が歌い文句で終わらないためにも不可欠と思われる。

チームにカテゴリーが無い人数 (2017 年データ)

	070 (~74)	075 (~79)	080 以上	合計
中部地域	12	40	34	86
関西地域	6	44	37	87
中四国地域	1	19	12	32
九州地域	5	32	15	52
計	24	135	98	257

参加集約の仕組みを構築すれば参加機会が多くなる。

#### 5. その他

①2020 年全域大会は九州地域で開催することが了承された。

②総会での提案漏れ

◆年 1 回の役員会で、課題等提案・審議・結論を導くには無理があるので、今後は 2 回 / 年役員会開催を提案します。出席者は連盟本部と地域事務局長を予定。

以上

以上をもって、本日の会議は全て終了した。

2019年（平成31年）4月7日

役員会議事録署名人

松 崎 隆 美

佐 賀 昭 雄

奥 村 淳 子